リスク解析戦略研究センター ニューズレター

Risk Analysis Research Center

News Letter

2026 October
2026年10月

Risk Analysis Research Center



「慶州瞻星台」(韓国の国宝(第 31 号)(資源管理リスク分析プロジェクト)

CONTENS

02 1. 今月のトピックス

02 2. 各プロジェクトからのお知らせ

- データ中心リスク科学基盤整備プロジェクト
- リスク基盤数理プロジェクト
- データ駆動型リスク解析のための計算数理プロジェクト
- 環境情報に関する統計解析手法開発プロジェクト
- 資源管理リスク分析プロジェクト
- 地震予測解析プロジェクト
- 時空間データ解析プロジェクト

03 3. センター事務局からのお知らせ

1. 今月のトピックス

統計数理研究所リスク解析戦略研究センターでは、各プロジェクト研究に従事する意欲的な研究者を公募しています。ご興味のある方は、応募をご検討ください。また、併せて関係各位へご周知いただければ幸甚です。公募詳細、及び、所定様式は以下の URL よりご確認ください。

どうぞよろしくお願いいたします。

https://www.ism.ac.jp/jobs/index_j.html
https://www.ism.ac.jp/jobs/index_j/RARC20261201_HPj.pdf

2. 各プロジェクトからのお知らせ

■ データ中心リスク科学基盤整備プロジェクト

●8 月 27 日に「第 3 回 SSDSE（教育用標準データセット）を用いた R 言語による分析演習」を（独）統計センターにて開催しました。

（所内責任者：南 和宏 教授）

● 9月 6 日～10日に開催された統計関連学会連合大会にて 2 件の企画セッションを実施しました。

① 「公的統計における 2 次的利用の新展開とプライバシー保護研究の最新動向」
南和宏（統計数理研究所）、伊藤伸介（中央大）、
高部勲（立正大）、千田浩司（群馬大）

② 「アジアの公的ミクロ統計の活用」
馬場康維（統計数理研究所）、岡本基（統計数理研究所）

（所内責任者：南 和宏 教授）

●11 月 20 日に「公的統計ミクロデータ研究コンソーシアムシンポジウム 2026」をオンライ形式でン開催予定です。

（所内責任者：南 和宏 教授）

■ リスク基盤数理プロジェクト

● 7 月 4 日～ 7 日に ISBA 2026 Satellite Meeting「Information Geometry, Privacy and Monte Carlo」を開催しました。65 名（うち外国人 55 名）の参加がありました。



集合写真

（所内責任者：鎌谷 研吾 教授）

● 8月 31 日～ 9 月 1 日に共同研究集会「極値理論の工学への応用」をハイブリッド形式で開催しました。49 名の参加がありました。



研究集会の様子

（所内責任者：志村 隆彰 准教授）

● 9月 28 日～10月1日に「The 5th ISM-TohokuU-UlmU-UTokyo Joint Workshop “Stochastic processes, Machine learning, and Related fields”」を MOU 締結のウルム大学、東北大学と共同開催予定です。

（所内責任者：栗木 哲 特任教授）

●11月4日～6日に共同研究集会「無限分解可能過程に関連する諸問題」を開催予定です。
（所内責任者：志村 隆彰 准教授）

●2027年2月5日に研究集会「多様体上の統計学: 理論と応用の新展開」を開催予定です。
（所内責任者：加藤 昇吾 准教授）

●2027年3月に高次元統計とモデル選択についての研究集会を開催予定です。
（所内責任者：二宮 嘉行 教授）

■データ駆動型リスク解析のための計算数理プロジェクト

● 8月20日～21日に諸科学集会26年度“夏”（公募型共同利用共同研究集会）を開催しました。
（所内責任者：矢野 恵佑 准教授）

●9月1日～3日に連続最適化および関連分野に関する夏季学校（統計思考院公募型人材育成事業）を開催しました。現地参加と遠隔参加を合わせて114名の参加がありました。



夏季学校の様子
（所内責任者：田中 未来 准教授）

●SIAM Journal on Financial Mathematics に 柳下翔太郎客員助教（2026年8月まで特任助教）らの論文「Optimal reinsurance and investment via stochastic projected gradient method based on Malliavin calculus」が掲載されました。

https://doi.org/10.1137/25M1727242

■環境情報に対する統計解析手法開発プロジェクト

●11月に外国人客員教授と招聘予定の外来研究員を中心としたワークショップを開催予定です。
（所内責任者：金藤 浩司 教授）

■　資源管理リスク分析プロジェクト

●8月5日～7日に日台韓主催の国際会議「Sustainable Forestry Ecosystem Management(SFEM)」（韓国大邱）を開催しました。



集合写真
（所内責任者：吉本 敦 教授）

■地震予測解析プロジェクト

● 8月20日に第105回統計地震学セミナーを開催し、台湾・国立中央大学の Ming-Che Hsieh 博士による講演「Non-Ergodic Path Effects from 3-D Physics-Based Simulations of an M8 Ryukyu Earthquake in Eastern Taiwan」が行われました。10名（うち外国人5名）の参加がありました。
（所内責任者：庄 建倉 教授）

● 10月12日～17日に第14回国際統計地震学ワークショップ「The 14th International Workshop on Statistical Seismology (StatSei14)」をチリ・サンティアゴにて開催予定です。
（所内責任者：庄 建倉 教授）

■時空間データ解析プロジェクト

●8月8日～10日の国際会議「EcoSta2026」にて、企画セッション「Spatio-temporal modeling and applications」を実施しました。

（所内責任者：村上 大輔 准教授）

●10月29日に菅澤翔之助先生（慶應義塾大学）と共同で、時空間モデリングに関する国際シンポジウムを開催予定です。

（所内責任者：村上 大輔 准教授）

●２０２７年1月6日に菅澤翔之助先生（慶應義塾大学）と共同で、時空間モデリングに関する国際シンポジウムを開催予定です。

（所内責任者：村上 大輔 准教授）

3. センター事務局からのお知らせ

●8月のリスクセンター運営会議の議題

- リスクセンター PD の新規募集について
- 今年度予算の返納について
- リスクセンターシンポジウムおよびリスク研究ネットワーク総会の開催報告
- 広報パネルの更新用ファイルの提出について
- 共同研究室 A513 のカーペット張替えについて
- 各プロジェクトからの報告
- その他

次回の会議は2026年10月14日（水）11:00～の予定です。

※ PD の新規募集に伴う臨時開催

2026/9/30